

AN INVITATION TO PROGRAMS IN

ECONOMICS AND BUSINESS

2023

大阪大学経済学部2023



OSAKA UNIVERSITY

大阪大学経済学部に関心をもつ皆さんに

ご挨拶

経済という言葉は、中国の古典における「経世済民」——世を経（おさ）め、民を済（すく）う——との記述に由来すると言われています。経済という言葉の本来の意味を考えると、経済学を学ぶことは、我々の暮らす社会をよりよくし、社会に暮らす人々の幸福を達成することであるとわかります。経世済民の精神こそが、本研究科・学部のパーパス（存在意義）ということになります。2019年以来の新型コロナ禍だけでなく、2011年の東日本大震災や世界各地の紛争・戦争といった予測不可能な変化が頻発する現代にあって、経世済民の精神を持ちながら経済学を学ぶ必要性はますます高まっています。たとえば新型コロナの感染症対策においても経済学者の知見が活用され、経済活動の抑制と経済的ダメージの関係が分析され、その後の対策の指針となったことや少子化対策としての待機児童の解消やゴミや放置自転車問題の解決といった身近な社会課題の解決にも経済学は有益なデータやエビデンスを提供しています。さらにはスポーツやエンターテインメントにも経済学の応用可能性は広がっています。

本学部は設立以来一貫して世界最先端・最新の研究を行うことで、我が国の経済学研究をリードする存在であったと自負しています。設立当初主流であったマルクス経済学の限界に早くから気づき、当時最先端であった近代経済学をいち早く取り入れた歴史を持つだけでなく、近年では人の非合理性に注目した経済学の新しい潮流である行動経済学の研究をはじめ、常に新しい領域の研究に積極的に挑戦しています。

また、経済学にとどまらず、経営科学やマーケティング、経営戦略といった経営学分野や経済史・経営史といった歴史的視点から経済・経営を捉える分野の教員も多数有しています。仕掛学のように本学部にしか存在しないユニークな学問を提供しています。

こうした最先端で多様な経済学関連の知見は、世界トップレベルの学術雑誌に研究論文として公表されるだけでなく、英語や日本語による著書の出版という形で社会に還元され、日経・経済図書文化賞をはじめとした様々な賞を受賞しています。このように、本学部の最大の特徴・強みは、経済学の新しい潮流に積極的に挑戦し、最先端の研究成果を希求すること、経営学や歴史分野といった多様な学問体系を合わせ持つことにありと考えています。

社会的に重要なパーパスを持つ経済学を学ぶために、経済学部では体系的なカリキュラムと充実した少人数教育の体制を整えています。学科は経済・経営学科のみで、経済学と経営学の区別にとらわれない学習が可能です。1・2年生時には全学教育推進機構が提供する科目を中心に豊かな教養と国際性を身につけるとともに、経済学の入門や基礎をしっかりと学びます。3年生からは専門知識を深め、特に研究セミナー（ゼミ）に所属して自分の関心のある領域を、担当教員やゼミ生同士の対話と交流を通じて探究します。グローバルな視点が養えるよう、外国人留学生との交流の場や交換留学制度なども整備しています。卒業後、学生の多くは民間企業や官公庁、非営利団体などに就職しますが、大学院に進学する人も増えています。

大阪大学経済学部は、常に社会的課題の解決にむかって最先端の経済学・経営学の知見を蓄積しつつ前進しています。経済学の社会的課題解決というパーパスに共感する熱意ある学生が一人でも多く、本学部の門を叩いてくれることを心からお待ちしております。



大阪大学大学院経済学研究科長
大阪大学経済学部長

開本 浩矢

教育目標

大阪大学の教育目標を受け、創立以来、日本における経済学研究の発展を担ってきた経済学部は、「経済」の本来の意味である「経世済民」——世を経（おさ）め、民を済（すく）う——の精神にもとづいて、人類の幸福の向上に努める「温かい心」（warm heart）をもった人材、そして日本や世界で生起するさまざまな経済・社会現象に関する法則を理論的、実証的、歴史的にとらえる「冷静な頭脳」（cool head）をもった人材の育成をめざします。

卒業後は、民間企業や官公庁への就職、あるいは大学院への進学など、各人が適性に合った多様な道に進むよう、学生一人一人の個性を育むことをめざします。

○高度な専門性と深い学識

世界に通用する最先端の経済学と経営学を基礎から体系的に習得することをめざします。

○教養

専門知識を実践に応用する上で必要とされる人間社会あるいは自然界に関する幅広い教養を身につけることをめざします。

○国際性

外国人留学生との交流の場や交換留学制度などを用意し、それにより学部の段階から国際性を養い、グローバル化

する経済の中で、リーダーシップを発揮して世界各地で活躍できるような能力・人材の育成をめざします。

○デザイン力

未解決の問題に対して糸口を見つけ、解決までの道筋を自らのアイデアで作り上げていくデザイン力を養うことをめざします。

○独自の教育目標

世の中で生起するさまざまな経済・社会現象に関する法則を理論的・実証的・歴史的にとらえることのできる人材の育成をめざします。

経済学部アドミッション・ポリシー

【求める人材像】

大阪大学のアドミッション・ポリシーを受け、経済学部は、経済学および経営学に関する知識を忍耐強く習得し、自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果をあげてくれる人材を求めます。具体的には、以下のような能力・資質を持った人材を求めています。

- (1) 探求心：経済学および経営学に関する知識を習得する
- (2) 社会に対する関心：自分の適性を発見して社会の多様な道に進み、それぞれの分野において将来大きな成果を

あげる

- (3) 基礎学力(全般): 高等学校等で履修する国語、地理歴史、公民、理科、数学、外国語についての基本的な知識及び理解度を持つ
- (4) 基礎学力(特定の分野): 特定の分野で高い能力を持つ

【入学者選抜の基本方針】

上記のような人材を受け入れ、また多様な学生を確保するため、総合的な知識・能力をバランスよく持った人材、専門的な知識・能力に特に秀でた人材、探求心や主体性が特に優れた人材などを適切に評価できるよう、国内の学生においては一般選抜と総合型選抜による入試を行います。また、学生の学習環境としてグローバルな多様性を確保するため、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試を行います。

【具体的選抜方法と、資質・能力との関係】

1. 一般選抜においては、上記の求める資質・能力を、大学入

学共通テストで(3)、個別学力検査で(4)を中心に評価し、判定します。

また、理科系志望も含む多様な人材を選抜するため、入学試験における評価の対象となる大学入学共通テスト科目について多様な試験科目の選択を認め、高等学校において理数系科目を重点的に学んできた人材についても個別試験への門戸を開きます。さらに、総合的な能力を持つ人材だけでなく、特定の分野で高い能力を持つ人材を選抜するため、大学入学共通テストと個別試験の総合判定において複数の科目配点方法を採用し、総合点の評価とともに、特定の科目における優秀な成績を評価に入れます。

2. 総合型選抜においては、上記の求める資質・能力を、以下の方法を中心に評価し、判定します。

大学入学共通テストで(3)、面接で(1)～(4)、調査書で(1)、(2)、その他の提出書類で(1)、(2)、(4)、英語資格で(3)・(4)を中心に評価し、判定します。

経済学部のカリキュラム

1年生の春学期から2年生の夏学期までは、1年生向けの少人数教育科目である「学問への扉」、「ミクロ経済学の考え方」や「マクロ経済学の考え方」等を含む基盤教養教育、情報教育や健康・スポーツ等を含めた「教養教育系科目」と、言語教育を中心とした「国際性涵養教育系科目」を履修します。それらに加え、「専門基礎教育科目」や「選択必修1」科目を履修することによって、経済学・経営学の基礎的な理論や方法論を身に付けます。2年生秋学期以降は、「選択必修1」科目で学んだ知識をもとにした各論的な「選択必修2」科目

やその時々々の経済・経営分野で解決を迫られているトピックや最先端の研究結果を踏まえた内容を扱う上級の「選択科目」を履修します。また、少人数双方向教育を重視した「専門セミナー」(2年生)や「研究セミナー」(3、4年生)を用意しています。研究セミナーは、概ね20名以内の少人数クラスで構成され、教員との対話形式の指導により特定のテーマについて深く学び、その成果をまとめること等を通じて、経済学・経営学の実践的な分析手法を身に付けます。



教員からのメッセージ

人間の心理と行動を探求して社会をよりよくする

経済学のイメージ

「経済学」にどのようなイメージを持っているでしょうか。「なんだか難しそう」という人が多いと思います。実際、中学や高校の社会で学ぶ経済学は、国民総生産、財政赤字、少子高齢化、グローバル化といった聴き慣れない言葉が多いです。自分たちの普段の生活とはかけ離れた感じがするのも自然です。

また、「お金の儲け方を研究する学問」というイメージを経済学にもっている人も多いでしょう。私自身も高校生の時に経済学部を志望学部にしたのは、「景気や株価を予測することができればお金を儲けられる」というのが理由でした。これは間違いではありませんでしたが、大学に入ってから経済学の魅力はもっと他にもあることを知って、研究者になりました。

「景気を良くする方法を研究する学問」というものもあります。私のことを経済学者だと知った人が、私にする質問で一番多いのは、「どの株を買えば儲かりますか?」というものですし、その次に多いのは「景気を良くして下さい」というものです。

経済学は、数字ばかり扱って、人間の心を扱わない学問というイメージも一般的です。経済学者は、現実の人間や社会のことがわからない冷たい人間だと思われることも多いです。お金を節約することしか考えない人だと思われるようです。

人々がより幸福になれる仕組みを考える

確かに、経済学を学べば、株のような金融資産の運用の仕方はうまくなります。ゲーム理論という経済学の分析枠組みを学べば、ライバル会社の戦略を的確に読むことができるようになりますので、経営に役立ちます。お金の儲け方が上手になるのは事実です。景気がなぜ悪くなるのか、どうすれば景気がよくなるのかということも経済学の大きな研究テーマです。でもそれだけではないのです。

私たちは、お金だけがあれば幸福なのではありません。人間関係も重要です。自然環境も重要です。経済学では、人々が様々なものから幸福を感じることを認めていて、誰もが自分がより幸福になるように意思決定をしていると考えています。その上で、多くの人々がより幸福になれるような社会の仕組みは何かということを経済学では考えます。社会というと抽象的かもしれませんが、家庭、会社、学校、地域といった

ものも全て社会の仕組みです。どのように家庭や会社の中でのルールを作れば、メンバーの満足度が高くなるのかということを考えるのです。ルールを作るのは法律では、と思うかもしれませんが。法律は、具体的なルールの制定の仕方です。どのようなルールを作ればいいのかは経済学で考えるのです。

人の心を扱う経済学

現代の経済学は、人間の心を扱います。人間の心理的特性を考慮した経済学は、行動経済学と呼ばれています。行動経済学は、今注目を集めている学問分野ですが、学部で授業が提供されているところは少ないのが実情です。しかし、大阪大学経済学部では、行動経済学の研究が活発に行われていて、学部で授業が提供されていますし、多くの学部学生が研究テーマにしています。

行動経済学を紹介してみましょう。みなさんは、夏休みの宿題を最後の方にしていませんか?では、宿題を夏休みの最後の方にしていた人たちは、夏休みの前の段階で、宿題を最後にする計画を立てていましたか?多くの人は、夏休みが始まる前は、宿題を先に終わらせて、ゆっくり夏休みを楽しもうと考えていたと思います。先延ばしです。このように、将来のことは忍耐強い計画が立てられるのに、直近になるとせっかちな選択をしてしまうことを現在バイアスと呼びます。

損失回避

あなたは、次のどちらを選びますか?

- A: コインを投げて表が出ると2万円もらえて、裏が出ると何ももらえない
- B: 確実に1万円もらう

では、次の選択肢ではどうでしょうか?

- C: コインを投げて表が出ると2万円支払い、裏が出ると何も支払わない
- D: 確実に1万円支払う

多くの人は、BとCの組み合わせを選ぶことが知られています。つまり、利得の場合は、安全策を好み、損失の場合は、損をしない可能性がある危険な選択肢を選ぶのです。安全志向ならば、確実に小さな損を選ぶはずですが、しかし、私たちにとって確実に損をすることはあまり魅力的ではなく、リスクがあっても損をしない選択が好ましく思えてしまいます。損失回避と呼ばれる特性です。

ナッジ

私たちの意思決定は、予測可能な形で合理的なものからズレてしまう傾向があります。もし、そのような私たちの特性を知っておけば、私たち自身の行動だけでなく、世の中の人々の行動をよりよいものに変えられるはずです。選択の自由を確保したまま、よりよい選択をできるようにそっと肘で押す仕組みのことをナッジと呼びます。行動経済学を学べば、ナッジで自分の生活だけでなく世の中もよりよくできるのです。私は、行動経済学を医療、仕事、防災などに応用する研究をしています。興味を持った人は、私の『行動経済学の使い方』(岩波新書)を読んで下さい。大阪大学経済学部に来れば、経済学の面白さを知って、自分の人生に役立てることが出来ます。みなさんをお待ちしています。

Fumio Ohtake

大竹 文雄 特任教授

Profile

京都大学経済学部卒、大阪大学社会経済研究所及び大学院経済学研究科を経て、2021年4月より感染症総合教育研究拠点で勤務。なお、現在も経済学研究科・経済学部の教育研究活動に従事。



教員からのメッセージ

経済学はサイエンスです

データを読みとく工夫

経済学はサイエンスです。「市場はこう動いているだろう」という理論をたて、その理論から予想されることをデータで検証することを通して発展してきました。ただ、実際の社会で実験を行うのは難しい。なんとか工夫をこらさねばなりません。例えば、若年者の飲酒とその影響について検証したいとしましょう。お酒を飲めるのは20才からと決まっていますが、法定年齢があることによって「断絶」ができます。そこで、20才前後の若者のサンプルを用い、誕生日近傍でどうアウトカムが違っているのか比較する方法をとります。このように制度の特色に着目し、あたかも実験のような状況からデータを読みといてゆく研究手法は、ビッグデータの活用もあいまって、急速に発展してきています。

幅広いテーマ

経済学では「市場の動き方」を学びます。市場がうまく機能する場合もあるのですが、突き詰めてゆくと、市場だけではどうしても不都合なことがでてきてしまいます。例えば、市場はシビアであるため、生活が苦しくなってしまう人がでてきてしまいます。また、気候温暖化の問題からはじまり、老後の貯金が不足がちになってしまうなど、さまざまな問題があります。どのような対策が効果的なのか。いまある対策はどれほどの

効果をあげているのか。副反応はないのか。経済学はさまざまな社会課題への理解を深め、解決へのてがかりを示してくれる学問です。

阪大経済でできること

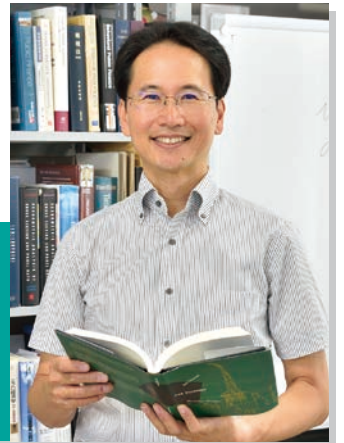
阪大経済では地に足ついた理論と最新のデータ分析手法を学ぶことができます。それだけでなく、自分自身で探求したいテーマを選び、みずから工夫をこらしてデータを読むこともできます。皆さんはどんな社会的課題を深く掘り下げてみたいでしょう。サイエンスのいとなみに参加してみませんか？

Kazuki Onji

恩地 一樹 教授

Profile

オーストラリア国立大学卒、カリフォルニア大学サンディエゴ校にてPh.D(経済学)を取得。オーストラリア国立大学クロフォード政策研究大学院講師等を経て、2017年4月より現職。専門は公共経済学、租税政策。



阪大経済学部でデータ・サイエンスを学んでみませんか？

データサイエンティストとは？

皆さんはデータ・サイエンティストという職業をご存知でしょうか？ざっくり言うと、データを分析してビジネスに役立つ知見を生み出す職業です。Harvard Business Reviewが「21世紀で最もセクシーな職業」と呼んで、一躍有名になったことをご存知の人もいるかもしれません。文部科学省も、ビッグデータやAIを理解できる人材の養成を各大学に求めています。職業としてデータ・サイエンティストは目指さなかったとしても、社会に溢れるデータは増え続けていますので、大学時代にデータ・サイエンスのスキルを学んでおくことは一生の役に立つでしょう。

データ・サイエンスは分野融合的な学問ですので、様々な学部で学ぶ

ことができます。今では専門の学部も設立されていますし、データ・サイエンスは理系の学問というイメージをお持ちの人もいるかもしれませんが、ここで強調したいのは、経済やビジネスに関するデータの分析は経済学部の専門だということです。例えば、自分は株式や財務データの実証分析を専門としていますが、この分野の研究者は経済学部や経営学部、商学部といったビジネス系の学部にも所属しています。

阪大でデータサイエンスを学ぶ

経済学部でデータ・サイエンスを学ぶメリットは何でしょうか？それはすなわち、経済データの背後にある理論を勉強できることです。当たり前ですが、経済データの背後には必ず人間の行動があります。例えば、株式データは投資家が株式を売買した結果、生まれるものです。経済理論は人々の行動を一定の仮定のもとでモデル化し、現実のデータを説明するものです。従って、経済データを単なる統計データではなく、背後にいる人間も含めて分析するには、経済理論の知識が必要不可欠です。例えば、株式データを分析する際に、「なぜ投資家はその価格で売買するのか」という観点を持つということです。

大阪大学の経済学部には、理論・実証ともに日本を代表する経済学者が揃っています。また、少人数制の専門セミナーや研究セミナーで個別指導を受けながら、プログラミングを学ぶ機会も用意されています。大阪大学は日本有数の総合大学ですので、理系学部の授業を取ったり、インターンシップに参加したりする機会も豊富です。皆さんも、この恵まれた環境で、経済データの専門家として、データ・サイエンスを学んでみませんか？



Akitada Kasahara

笠原 晃恭 准教授

Profile

東京大学経済学部卒、スタンフォード大学経営大学院にてPh.D(経営学)を取得。早稲田大学高等研究所講師等を経て、2022年4月より現職。専門は金融経済学。

大学院博士前期課程早期修了プログラム

早期修了プログラムとは？

経済学部3年次生の皆さんは、本プログラムの履修生となることで、学部4年次の授業と並行して経済学研究科博士前期課程開講科目の単位を取得できるようになり、学部卒業後最短1年間で経済学修士・応用経済学修士・経営学修士のいずれかの学位を取得することが可能となります。通常、修士号取得には学部4年間、博士前期課程2年間の合計6年の年限が必要ですが、このプログラムの履修生となることで、修士号取得までの道のりが1年短縮されるため、経済学、経営学の高度な専門的知識を短期間で獲得することができます。

..... | 選考方法 |

本プログラムに出願するにあたっては、本学経済学部3年次生で、夏学期終了時まで原則として、経済学部の専門科目を45単位以上取得し、優秀な成績であると認められることが必要です。選考にあたって出願者は、(1)志望理由書 (2)成績証明書 (3)推薦状（研究セミナー指導教員、または大学院進学後に専攻を希望する分野の教員が記載したもの）の3点を提出する必要があります。

早期修了プログラム体験談

専門科目の授業に面白さを感じ、もう少し深く勉強してみたいという気持ちが芽生え始めた学部3年生のとき、所属していたゼミの先生から案内があり、早期修了プログラムのことを知りました。当時の私にとって大学院は未知の領域であり、学部を卒業して就職していく同級生が多い中で進学を選択することには、心理的・費用的な面でハードルがありましたが、早期修了プログラムの制度が、そのハードルを下げてくれました。実は、応募当初はとくに研究者志望というわけではなかったのですが、早期修了プログラムの下、学部4年生から大学院の授業を受講し、最先端の研究に触れることで、学術的な関心がより高まり、研究の世界に夢中になっていきました。もし早期修了プログラムがなければ、大学院に進学することも、ましてや研究者の道を志すこともなかったであろうと考え、このプログラムは、私の人生を決定づける大きなきっかけをくれたものといえます。

経済学研究科
三輪 一統 准教授



早期修了制度の最大のメリットは、様々な角度から自身の可能性を模索するための時間を創出できる点にあります。もちろん1年早く履修する大学院の講義で単位を取得するための学習時間は不可欠ですが、一方で制度の利用は決して大学院以外の進路を閉ざすものではありません。講義内容はそれ自体が博士後期課程への進学準備にも役立つでしょうし、大学院の雰囲気を知った上で学部卒として就職活動を行うことももちろん可能です。私自身は現在スポーツのデータを用いた実証研究に取り組んでいますが、分析対象とアカデミックな立場から向き合う感覚は、講義と体育会の部活動に並行して取り組んだ学部4年次の経験によって培われたと感じています。自分次第で単に1年早く修士の学位を取得できる以上のメリットが期待できる本制度は、経済学部生にとって魅力的な選択肢であると言えます。

博士後期課程 3年
R.Tさん



在校生からのメッセージ



A.Tさん

経済学部 1年

経済学部に入塾して私は週13コマの授業を受講し、そのうち対面授業は5コマあります。対面授業を多く受講している友達もいますが、私は通学に往復約4時間半かかるため自宅での学習時間を増やしました。基盤教養や学門への扉という種類の授業では、興味がある授業の受講や様々な学部の人との交流が可能で、異なる考え方に触れることが刺激的です。

また、大学生になり時間的余裕が出てきて、興味があることに挑戦する時間を多く取れています。例えば、私は起業やビジネスに興味があり、実際に一度、起業してみようとセミナーに参加しています。1年次に行動してみて、より突き詰めたいと感じた分野について2年次以降でも深く学んでいこうと考えています。

サークル活動では私は大阪大学吹奏楽団に所属しています。約150人が所属している大きな規模のサークルなので学部を問わず多くの友達ができました。コンサートや合宿などがあるので、入団後は練習に励み充実した日々を過ごしています。



K.Oさん

経済学部 2年

経済学部は専門科目の選択肢が多く、自分の興味に合った学びを得ることができる環境です。私が現在履修している専門科目は、「統計」などの選択必修科目と、ゼミ形式の「専門セミナー(データ分析のための統計学入門)」です。統計の講義で学んだ内容を、専門セミナーでプログラミングすることで理解が深まり、知識が身につけていると感じます。

休日には、カラーガード(マーチングバンドの、フラッグなどを使ってパフォーマンスするパート)の練習に打ち込んでいます。一般の団体なので、社会人の方と交流を持てるのも楽しみの一つです。学内では、フロンティアというボランティアサークルで手話や点字を学んだりしています。また、経済学部同窓会の下部組織であるECOCAにも所属しており、主に会計として就活イベントなどの運営に携わっています。自由度が高い学部なので、勉学以外のことにも思う存分取り組みたいところも大きな魅力だと思います。



H.Kさん

経済学部 3年

経済学部では、ミクロ・マクロ経済学といった経済理論から、経営管理論などの経営学や簿記の内容を学ぶ会計学、統計やデータ分析といった、経済・経営に関する非常に幅広い学問を学ぶことができます。自分の好みに合わせて履修する授業を選ぶことができるので、授業へのモチベーションも非常に高いです。授業は対面とオンラインのハイブリッド型で開講されているものも多く、柔軟に授業を受けることもできます。しかし、オンライン授業ではなかなか友人ができないのではないかと心配する人も多かもしれません。そこで、皆さんにはぜひサークルにも入ってほしいです。私は旅サークルに所属していますが、サークルでは学部の壁を越えた繋がりを作ることができます。大学生活は学業もプライベートも本当に楽しいことに溢れています。自分の可能性を楽しく自由に広げたいという方はぜひ経済学部へ。皆さんとお会いできることを楽しみにしています。



H.Nさん

経済学部 4年

4年次では株式市場、ファイナンスや監査論について学んでいます。私は1年次に経済学部の授業内で開催された公認会計士試験に関する説明会で公認会計士という資格に興味を持ち、大学に通いつつ専門の予備校で勉強を始め、3年次に合格することができました。大学との両立は大変でしたが、大学の勉強をする日と試験の勉強をする日を分けて設定することで、どちらの勉強もおろそかにすることなく集中して取り組むことができました。経済学部は、様々な講義から自分の興味のある分野について学ぶことができ、専門的な知識を学ぶのに適した環境だと思います。

また、学部では4年間を通してゼミのメンバーをはじめ、素晴らしい先生や仲間たちと出会うことができ、充実した大学生活を送ることができています。

入学当初、将来の目標など何も決まっていなかった私が夢を見つけ、叶えることができたのは様々な選択肢を与えてくれた経済学部のおかげです。

海外留学制度

交流協定を結んだ外国の大学に留学する制度です。毎年2回本学部内で、選抜試験を行い、成績優秀者を交流協定のある外国の大学へ派遣しています。留学によって卒業が遅れることがないように、本学部では交流協定のある大学への留学期間を本学在学期間とみなし、また単位互換制度を設けています。資金的には、協定大学では授業料が免除されますし、渡航・滞在費については日本学生支援機構の留学生交流支援制度に応募する道のほか、本学部独自の資金も用意されています。

また、大阪大学経済学部には外国からの留学生が多数学んでいます。現在は学部生と大学院生あわせて257名が在籍しています。その出身国・地域は、中国、韓国、台湾、モンゴル、ベトナム、フランス、ブルガリア、タイ、カナダ、ロシア、ウクライナ、サウジアラビア、ウズベキスタン、ギニア、ボリビア、タンザニアなど幅広く分布しています。海外からの本学部への留学希望者は年を追ってますます増加する傾向にあり、その面でも今後いっそう国際化されることが予想されます。

学部間交流協定校 (2022年8月現在)

- ESSECビジネススクール(フランス)
- ゲーテ大学(経済経営学部)(ドイツ)
- ロンドン大学(SOAS)(イギリス)
- ブリティッシュ・コロンビア大学(ソウダービジネススクール)(カナダ)
- 国立台湾大学(社会科学院・管理学院)(台湾)
- 国立政治大学(社会科学院)(台湾)
- 国立成功大学(社会科学院・管理学院)(台湾)
- メリーランド大学(経済学部)(アメリカ)
- ジョンズホプキンス大学(経済学部)(アメリカ)
- フリブール大学(経営学部・人文学部)(スイス)
- ボローニャ大学(経営学科)(イタリア)
- EDHECビジネススクール(フランス)
- シドニー工科大学(オーストラリア)



学部間交換留学制度の詳細は、経済学部ホームページをご覧ください。
<https://www.econ.osaka-u.ac.jp/international/type.html>



大学間交流協定校全144校 (2022年6月現在)

大学間交換留学制度の詳細は、大阪大学ホームページをご覧ください。
https://www.osaka-u.ac.jp/ja/international/outbound/ex_students.html



国際交流

留学体験記 STUDYING ABROAD PROGRAM

Q1 留学に向けてどのような準備が必要ですか。また、いつ頃から準備を始めましたか。

ビザの手続きと奨学金の申請が一番大変でした。コロナの影響ですと行けないと言われていたのが、外務省の通達で6月中旬に急に行けることになったので、それからビザの申請を始めることになり、間に合わないかもしれないという不安とビザがない状況でも寮や奨学金の締め切りがあったので手続きを進めていかないといけないという大変さがありました。

Q2 留学中のエピソードをお聞かせください(失敗談やよかったと思える経験など)。

グループで一つのプロジェクトに取り組んでプレゼンを行うという授業があったのですが、メンバーの国籍がカナダ、シンガポール、ウクライナ、トルコと非常に国際色豊かだったため、グループ活動の中でそれぞれの国のことについて知ることができたのがいい経験になりました。

Q3 帰国後の就職活動の遅れを危惧して留学をためらう人も多いようですが、どのように考えますか。

率直に言うと、もったいないなと思います。特に私の代は三年生の時にコロナで留学が中止になり、またコロナが収束せず四年生で行ける確証もない状況だったので、留学に行きたくても就職活動を優先して応募を諦めた友人が多くいました。

私の場合は留学をするまでは卒業できない、いけるまでは休学してで



経済学部4年生 N.Yさん(写真右端)
留学先 プリティッシュ・コロンビア大学

も応募し続けようと思っていたので、就職活動をせずに四年生での留学も応募しました。私は母が大学時代留学していたこともあり、両親が大学生での留学を応援してくれましたが、友人の中には親に就活したほうが良いと言われて諦めた人もいました。しかし社会人になった友人と話していると、留学に行けばよかったと後悔する声をよく聞きます。様々な家庭事情があると思うので一概には言えませんが、世界の有名大学に日本の国立大学の学費で通うことができる環境は非常に恵まれていますし、社会人になって安定した職に就いてから留学することは金銭的には楽になるかもしれませんが、安定から抜け出すという面で精神的にはハードルが高くなると思います。浪人、留年、大学院進学などで社会に出るのが遅れる人はたくさんいますし、私は、長い人生で一年二年の差は大したことないという先人の教えを胸に留学を決意しました。

留学生インタビュー

Q1. 日本に留学しようと思ったきっかけ

日本は強い国です。定量データを見れば国の全体像を把握できると思いますが、それより高い民度、しっかりした教育の土台に惹かれていました。幼稚園の頃から日本という国の存在を知っていましたが、悪い話をなかなか耳にしません。「冷静で、真面目な人たち」というイメージが強かった上、実際に期待通りだった事に好感を持てます。一言では、多種多様な側面において学ぶことの多い国だと思ったのがきっかけです。

Q2. 大阪大学に入学してよかったこと

周りが優秀であるお陰で自分も常に引っ張られて前進できるところです。先生はいうまでもなく、学生たちも真面目な人が多い印象です。いわゆる勉強友達ができるいい環境だと思います。施設がすべて整っており、図書館は土日でも開館するので大学へ行くモチベーションが上がります。また留学生も多いから国際交流を体験できると思います。

Q3. 阪大で何を学び、どのような体験をしたいか

少し細かい話になりますが、自分は研究セミナーで計量経済学を学んでおり、これから実証分析に力を入れて勉強したいと考えています。毎回の進捗報告に対して先生からフィードバックを貰えるため、研究が捗ります。

今年の目標はしっかりと卒業論文を書き、経済学部の懸賞論文に応募す

B.Bさん

経済学部4年生

国籍: モンゴル



ることです。卒業に必要な残り単位数はもう少ないですが、まだ上級レベルの授業が未履修ですので、来学期に受けるつもりです。大阪大学の授業は最先端の知識を、応用を兼ねて修得できるためとても魅力的です。暇であることが勿体ないと思われるぐらいで、卒業までたくさん勉強したいと思っています。

Q4. 卒業後の将来のこと

暫くの間は日本で働き、世界に通用する高度な技術を身につけ、幅広い経験を積みたいと思っています。グローバルでトップを走る日本の金融業界に興味を持ち、よく言われる厳しい環境の中で自分を試したいです。なにより、大学で学んだ事を今後の人生に活かし、一刻も早くワークフィールドにおいて実践することが目的です。

同窓会



卒業後の進路・同窓会活動

こんにちは！大阪大学経済学部同窓会学生会（ECOCA）です。

ECOCAでは大阪大学経済学部同窓会の下部組織として、学生の皆様を支援するイベントを、企画・運営しています。ここでは、各種団体イベントの中でも学生の就職活動を支援する就活イベントについて紹介します。

就職活動が始める2,3年生には、「就活準備スタートダッシュ講座」を開いています。企業の協力の基、就職活動の概要を学び、情報戦でもある就活の知識を深めていただきます。

また、就職活動中である2,3年生主体に、企業分析可能な合同説明会である「企業探求セミナー」を開催しております。合同説明の後、懇親会にて各企業の人事の方と対話し、企業理解や自己理解を一層深めていただいております。

加えて、経済学部全学年対象の「OBOG交流会」では、学生とOBOG方との交流を通じて、就職活動や学生生活等の悩みの解消に役立てていただいております。

ECOCAは今後もさらにイベントの量・質ともに増加させ、大阪大学経済学部生が最適なキャリアへ羽ばたく手助けができるよう支援していきます。



最近の就職先(5年間)

20名以上

三井住友銀行

10名～19名

三菱UFJ銀行 三井住友信託銀行
日本生命保険相互会社 東京海上日動火災保険
野村證券 大和証券 関西電力
EY新日本有限責任監査法人
有限責任あずさ監査法人 楽天グループ 伊藤忠商事

5名～9名

大阪ガス みずほ銀行 三菱UFJ信託銀行
りそなホールディングス 三井住友海上火災保険
農林中央金庫 パナソニック 富士通 三菱電機
オービック 住友化学 阪急阪神ホールディングス
サントリーホールディングス 住友商事
双日 ベイカレント・コンサルティング
アビームコンサルティング PwCコンサルティング
有限責任監査法人トーマツ 野村総合研究所
PwCあらた有限責任監査法人

その他（一部）

厚生労働省 国税庁 特許庁 国土地理院
日本郵船 エーザイ 凸版印刷 村田製作所
大丸松坂屋百貨店 任天堂



卒業生からのメッセージ



K.Nさん（2021年度卒業生）

就職先 建設業

皆さん、こんにちは。今この文章に目を通している方は、少なからず大阪大学経済学部に興味を持ってくださっていることと思います。カリキュラム、学力の一致度、実家からの通学圏内であること、など興味を持つ理由は様々です。この短い文章を通じて、皆さんがより阪大経済を身近に感じ、これまでとは違う角度から興味を持っていたければ幸いです。

阪大経済での生活を振り返ると、公私とも学生の自由な意思を尊重してくれた4年間だったと感じます。学びの面では、「経済・経営学科」という名の表す通り、経済学と経営学両方の幅広い知識に触れた後、各自の志向に基づいて、ある分野を専門的に深める体制をとっています。つまり、各分野の要点を「いいとこどり」する中で、自分自身の興味関心を見極め、追求できます。また単純に、広く経済・経営学を知ること、それだけ多くの視点を獲得できます。自由かつ体系的な学びができることは阪大経済の大きな魅力であり、それだけ新鮮なアイデアも生まれやすい環境だと思います。

また、集まる学生たちについても多様性に富み、互いの個性を尊重し合える風土があります。

大規模な総合大学であるためか学生は日本全国から集まり、各々の背景や考え方はさらにばらばらです。自分の知らないものの考え方、見方に触れることは、驚きを伴いつつも大変刺激的で、面白いです。また、そんな学生たちが自由な気風の中、4年間をかけて思い思いの事柄に熱中し挑戦し表現する。すると学部全体は一層多様性を増し、にもかかわらず友人たちとの仲間意識はより強固なものになっていく。矛盾するような現象ですが、それは当学部でしか味わえない貴重な感覚です。

阪大経済生には、与えられた自由をフルに活用し、自分で考え、熱中できる分野、物事を見つけ出す姿勢が求められていたように感じます。また当然ながら、自由に伴う責任を理解し、自覚ある行動を取ることも重要です。

この文章を読む皆さんにも、大学4年間の時間を活かして何事にも積極的にチャレンジしていただきたいと思います。そして、学業でも部活でも何でも構いません、ご自身が熱中できる物事を、できるだけ早く見つけてください。大学の4年間で懸けて挑戦し尽くせるものであれば、きっとその後も誇りに思えるはずです。その上で、その挑戦の場が阪大経済学部であれば、OBとしてこれ以上の喜びはありません。

大学を目指すにあたっては、苦勞することが多くあります。それでも、めげずに、めげずに、です。ささやかながら、皆さんのご健闘をお祈りしております。

令和5年度入試について

令和5年度の大阪大学経済学部の入学者選抜は、一般選抜前期日程と総合型選抜を実施します。

なお、平成29年度より一般選抜後期日程の募集は行っていませんので、ご注意ください。

前期日程の試験日は2月25日(土)で募集人員は198名、総合型選抜の第2次選考試験日は12月18日(日)で募集人員は22名です。

本学部は、受験生の皆さんの立場を考え、また、できる限り皆さんの多様な能力を判定に取り入れることを目的として、いわゆる阪大経済学部方式と呼ばれるユニークな入学者選抜方法を採用しています。

一般選抜前期日程では、国語・数学・外国語の3教科について個別学力検査を実施します。合格者は次のような複数基準を用いて決定されます。まず、大学入学共通テストの成績と経済学部で行う個別学力検査の成績を9対1の割合で評価するA配点(大学入学共通テスト重視型)で上位65位以内にあるものと、逆に大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績とを1対9の割合で評価するB配点(個別学力検査重視型)で上位65位以内にあるものを合格者としてします。

次に、以上のA配点・B配点による合格者を除いた受験者の中

から、大学入学共通テストの成績と個別学力検査の成績とを5対5の割合で評価するC配点(平均型)で高得点者順に合格者を決定します。

総合型選抜は、従来の価値観や能力にとらわれない多様な資質を有する学生を受け入れることが重要であると考え、実施することになりました。

具体的には、高等学校の調査書、TOEFLもしくはIELTSのスコア又は英検2級以上の合格証明書、大学入学共通テストの成績、面接の結果等を経済学部のアドミッション・ポリシーに基づき組み合わせるほか、海外留学の実績等を活用する場合や志望理由書および志願者が所属する高等学校等の長が作成する志望者評価書等に基づき、多面的、総合的に合格者を判定します。

以上のように、大阪大学経済学部では一般選抜前期日程と総合型選抜でバラエティに富んだ入試を行います。どうか皆さんチャレンジしてみてください。

なお、一般選抜の日程に関しては11月下旬に発行される「令和5年度大阪大学学生募集要項」、総合型選抜については大阪大学のホームページにて公表中の「令和5年度入学者選抜要項(総合型選抜・学校推薦型選抜)」の内容を熟読のうえ、出願して下さい。

一般選抜

①第1段階選抜を実施しません。

②第2段階選抜における大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点

日程	配点区分	試験区分	国語	地歴	公民	理科	数学	外国語	合計	総合計
前期日程	A	大学入学共通テスト	120	60	120 ($60 \times 1 + 30 \times 2$ 又は 60×2) (注1)		120	120 (注4)	540	600
		個別学力検査等	20				20	20	60	
	B	大学入学共通テスト	14	6	12 ($6 \times 1 + 3 \times 2$ 又は 6×2) (注2)		14	14 (注4)	60	600
		個別学力検査等	180				180	180	540	
	C	大学入学共通テスト	68	32	64 ($32 \times 1 + 16 \times 2$ 又は 32×2) (注3)		68	68 (注4)	300	600
		個別学力検査等	100				100	100	300	

(注1)「物基、化基、生基、地基から2」を含まない科目の成績を利用する場合は、「 60×2 」の配点となります。

(注2)「物基、化基、生基、地基から2」を含まない科目の成績を利用する場合は、「 6×2 」の配点となります。

(注3)「物基、化基、生基、地基から2」を含まない科目の成績を利用する場合は、「 32×2 」の配点となります。

(注4) 大学入学共通テストの外国語において、「英語」(リーディング100点満点、リスニング100点満点)を選択した場合は、リーディング150点、リスニング50点の200点満点に換算して利用します。なお、聴覚障害等によりリスニングを免除された者は、リーディング(100点満点)の成績を200点満点に換算し、「英語」以外の外国語を選択した者は、筆記(200点満点)の成績を利用します。

総合型選抜

総合型選抜の選抜方法の詳細については、現在大阪大学のホームページにて公表中の「令和5年度入学者選抜要項(総合型選抜・学校推薦型選抜)」をご覧ください。

<https://www.nyusi.icho.osaka-u.ac.jp/>



第3年次 編入学制度

すでに大学を卒業し、社会的経験を積んだ方々や、本学部以外で教育を受けた方々(現に他の四年制大学に在学中の方々、短大・高専卒業生など)のなかに、先端の経済学・経営学を本学部で学びたいとの強い社会的ニーズが存在することに応じて、平成7年度から設けた制度です。令和4年度は編入学試験により10名が合格しました。募集人員は10名です。関心のある方は、経済学部教務係にご照会下さい。令和5年度編入学試験は令和4年11月に行う予定です。

ACCESS



豊中キャンパス



電車

阪急電車宝塚線

石橋阪大前駅(急行停車)下車 東へ徒歩約20分

モノレール

大阪モノレール

柴原阪大前駅下車 西へ徒歩約10分

お問い合わせ先

大阪大学経済学部教務係

〒560-0043 豊中市待兼山町1番7号 電話：06(6850)5207

詳細は大阪大学経済学部ホームページをご覧ください。

<https://www.econ.osaka-u.ac.jp/>



編集・発行 大阪大学経済学部

この冊子は再生紙を使用しています。